

経営会議・会議録概要

I. 日 時 令和5年9月26日(火) 午後4時30分～5時

II. 場 所 委員会室

III. 出席者 経営会議構成員(代理出席:都市整備部総括次長、会計室長)、
政策推進部総括次長、政策推進部戦略企画課長、同上席主査
(欠席:教育長、都市整備部長、会計管理者)

IV. 案 件

- 1 令和6年度予算編成方針について
- 2 その他

V. 内 容

【副市長】

- 経営会議を開催する。

1 令和6年度予算編成方針について

(1) 主な意見

【副市長】

- 本日の議題は令和6年度予算編成方針についてである。
- それでは、政策推進部長より説明をお願いします。

【政策推進部長】

- 令和6年度は市長選挙実施年度であり、骨格予算となるが、令和3年度よりスタートした「幸せデザイン 大東」の実現に向け、これまでの取組を着実に進めていきたいと考えている。
- 今回の方針では、「財源確保に向けた積極的な取組の推進」、「多角的で中長期的な視点による政策の推進」、「“幸せデザイン 大東”の着実な実行と「公民連携」「DX」の推進」と3つの柱を掲げている。
- 特に、一つ目の柱である、「財源確保に向けた積極的な取組の推進」については、中期的に厳しい財政運営を見込む中、これまで以上に市民サービスの維持・向上を図るため、強くご認識いただきたいと考えている。

- 具体的には、民間ファイナンスを含めたあらゆる財源の確保に積極的に取り組んでいただくとともに、公民連携、DXの推進により、人材や財源を生み出し、生み出された人材や財源を用い、福祉・医療など、本来行政が担うべき市民サービスを拡充していくという考えが根本にある。
- 一つ目の柱の推進が、二つ目、三つ目の柱の推進につながる、好循環が生まれ、持続可能な財政運営のもと、「幸せデザイン 大東」を着実に進めることができると考えている。

【財政課長】

《配布資料に沿って説明》

【副市長】

- ただいまの説明で意見や質問はあるか。

【理事兼都市経営部長】

- 皆さんは民間ファイナンスが何か具体的にイメージできているか。銀行融資や投資家からの投資のことを指すが、具体的にどのようにしていくかが難しい。民間ファイナンスの1つともいえる企業版ふるさと納税の進捗はどうなっているのか。

【政策推進部長】

- 現在、国に地域再生計画の申請をしているところで、11月頃に認定される予定となっている。従って、来年度までには開始できる見込みである。

【理事兼都市経営部長】

- 対象となる取組について、各部は知らないのではないか。

【政策推進部長】

- 総合戦略に記載の全ての取組が対象となる。

【理事兼都市経営部長】

- 例えば、令和6年度に事業を行おうとしたときに、地域再生計画に基づいている

もので、企業が寄付をしていただければ特定財源に充当ができる。さらに企業に営業をして、寄付をしていただいたら、財源となる。それが民間ファイナンスの活用の1つの事例ということになる。

【政策推進部長】

- そのとおりである。活用に関しては、今後 PR させていただく。

【副市長】

- ふるさと納税という言葉が出たが、この10月から制度が変わり、制限が厳しくなる。大東市で約800品目あるうち、約200品目が対象外になると聞いている。来年度の税収にも関わってくることであるため、皆さんにはその現状も念頭に置いて、民間ファイナンスの活用をより一層、意識していただきたい。

【保健医療部長】

- 公共施設の老朽化対策について、当部では施設を多く所管している。今年度、都市経営部にFM調書を提出したが、公共施設の改修について、今後、何か方針を出してもらえるのか。
- 今のままでは修繕費がかさむ一方であるため、そのあたりの考え方についてご教授いただきたい。

【理事兼都市経営部長】

- これまでもFM調書は提出いただいていたが、今年度、資産経営課に提出いただいたFM調書を基に優先順位を出そうとしている。
- 今後は、各施設のカルテを作成する予定にしており、そのプランを皆さんに共有するので、またこの場で議論していただきたい。

【保健医療部長】

- 令和6年度の当初予算に間に合うのか。

【理事兼都市経営部長】

- 令和6年度には間に合わないが、優先順位はつけていくので、それを予算査定

の参考として財政課へ提出する予定である。

【副市長】

- これまでコロナ禍で、各部のやりたいことが制限されてきたように思う。
- 従って、やりたいと思う事業は積極的に予算要求をしていただきたい。採択されるかどうかは確約できないが、まず各部で議論の土俵に上げていただくことが重要である。その中で民間ファイナンスの活用などを検討していってもらいたい。

【市長】

- 私は市長になるまでは、会社の資金繰りに奔走していた。民間企業は資金を調達して、いかに設備投資や先行投資するかが、経営の3～4割を占めている。皆さんにもそういう感覚を少しずつでも根付かせていっていただけたらと思っている。
- 企業版ふるさと納税は、企業・市・市民にメリットがある。ウィンウィンを展開できる制度となっているので、そのチャンスを利用して付加価値の高い展開をしてほしい。
- 皆さんの奉職時を思い出していただきたい。崇高な想いや理念があり、その理念は市民の皆さんの幸せに寄与するのだという気持ちにつながっているはずである。
- 行動のエネルギーやバイタリティーは休息だけでは生まれない。今一步踏み出すことや、エネルギーに動くことが次のエネルギーや活力につながってくる。
- そのことを部下の皆さんにしっかり伝えていただいて、1日、1か月、1年を過ごしていけないかという声かけをしていただきたい。
- 1日が翌日の加速につながり、1か月がさらに大きなエネルギーとなり、1年が翌年以降の前向きに仕事に取り組めるような姿勢を根付かせる。こういったことで好循環が生まれるのではないかと考えている。
- 止まってから自転車を動かすのはしんどいが、動き続けると自転車は楽に走れるので、行動を改めて見直してほしい。
- 財源は厳しい状態が続いているが、良くするには歳出を抑制し、歳入を拡大するという2つしかない。歳出抑制は何かを取り止めるということではなく、より合理的に事業を進めていく、ということを考えていただきたい。

- 民間ファイナンスについては企業訪問をする中で、企業版ふるさと納税の営業をしていただくなど、お互いの良さを感じあえることで共栄につながる。
- 企業の魅力を我々が感じ、市役所の魅力を企業が感じ、市民が市役所や市内の企業に魅力を感じてくれる。今集まっているメンバーが予算編成の段階で、こういう実感を市民一人ひとりに投げかけることができるようなチームになっていただきたいと思う。
- 令和6年度は骨格予算だが、肉付けを行った際に方向性が180度変わることはない。肉付けをイメージしながら骨格をしっかり組んでいただきたい。
- これまでやってきたこと、これからやりたいことを認識し、方向性を明確にしていきたいながら予算編成を行っていただきたい。

【副市長】

- 本日の案件は以上であるが、その他報告案件などはあるか。
- これにて経営会議を閉会する。

(以上)